

のぐち歯科・口腔外科医院だより

2018年5月号 Vol. 05



「平成」残り1年

来年4月30日に天皇陛下が生前退位され、「平成」が幕を閉じます。

平成の始まりはバブル経済全盛期で、世界の有名な企業や建造物が日本企業によって買収されたというニュースが良く報道されていました。

そして平成が終わる今、日本が抱えている最大のテーマは「**2025年問題**」です。この年、団塊の世代が75歳以上になります。日本は、5人に1人が75歳以上、そして3人に1人が65歳以上となる「**超高齢社会**」に入ります。これに合わせて医療も変化していきます。その本幹は、今年4月の診療報酬改正で明らかになりました。

国はこれまでの「**病院完結型医療**」から「**地域完結型医療**」へ政策転換をしました。つまり超高齢社会では、病院だけでは医療が担えない為、在宅医療を推し進めていく方針です。歯科医療も同じく、今後は在宅医療（訪問歯科診療）を充実させる方向性が示されました。

当院は、このような医療の転換期に合わせ、知識・技術の習得、スタッフ教育を行っているところです。

院長 野口和秀



知って得する歯科の知識5

歯科麻酔（局所麻酔）のQ&A

★診療中によく頂くご質問です（日本歯科麻酔学会提供資料参照）

Q1：麻酔で気分が悪くなりました。アレルギーですか？

麻酔薬によるアレルギーの頻度は少ないとされています。気分が悪くなる原因は、他にも痛みによる迷走神経反射（脳貧血）、過換気症候群などが考えられます。

Q2：麻酔が効きにくい体質と言われたのですが？

体質により局所麻酔の効果が影響を受けることはありません。ただし、歯茎に強い炎症がある場合や骨が固く麻酔液が浸透しにくい場合は、十分な麻酔効果が得られないことがあります。

Q3：麻酔薬は血圧を上げる効果があり危険性があると聞きました。

歯科治療で使う麻酔薬には血管収縮薬が添加されています。これにより一時的（数分間）に血圧と脈拍の上昇が現れます。高血圧症や心臓病がある方の場合は注意が必要です。当院ではこのような時にはモニター監視をして血圧や脈拍に異常がないことを確認しながら診療を行っております。（日本歯科麻酔学会推奨）



スタッフから一言

患者様ひとりひとりのお口の状態や悩みに合わせた提案をしていけたらと思います。安心して通っていただけるように笑顔で丁寧な対応を心掛けます。

歯科衛生士 井出



5月診療日変更のお知らせ

5月10日（木） 通常診療

5月30日（水） 休 診

5月31日（木） 通常診療